

Daisen Biyori

だいせん日和



www.city.daisen.akita.jp

「人が生き、人が集う、夢のある田園交流都市」の創造に向け――

平成 25 年度

施政方針演説



平成 25 年第 1 回大仙市議会定例会が 2 月 25 日に開かれ、栗林市長が新年度の施政方針演説を行いました。

大仙市が誕生してから 8 年――

新たな局面を迎え、次のステージへと向かう市政への決意を表明した演説内容を抜粋してお伝えします。

全文は市ホームページ (<http://www.city.daisen.akita.jp/>) に掲載しています。

冒頭演説

2 期 8 年間で振り返って

私は、大仙市の初代市長として、平成 17 年 4 月から 2 期 8 年にわたり、市民の負託を受け市政のかじ取りを担ってまいりました。これまで、常に与えられた責任の重さを感じながら、「弱い立場にある人たちに、いかに政治の光を当てるか」を政治信条とし、市民生活の向上や市の発展に向け誠心誠意努めてきたと思っております。

市長就任にあたっては、「住民にとって相談しやすく、頼れる市役所を目指し、共に汗を流しながらまちづくりに取り組む」として、農業を基幹とした農村社会における「産業と雇用」、「子育て支援と教育」、「安心できる健康長寿社会の実現」など 8 つの公約を掲げ、市民との協働のまちづくりを進めてまいりました。そして、新市の基礎を固め、大仙市が一体性のある自治体として発展していくことを目指し、市政運営の基本指針となる大仙市総合計画を策定して、市民の皆さまの協力を得ながら、各般の施策に取り組んでまいりました。

2 期目では、この姿勢をさらに徹底し、「市民とともに歩むまち」「安全・安心・きれいなまち」「体力のあるまち」「子育てのまち」「生きがいのあるまち」の 5 つの方針と農業や地域医療など 12 の主要な施策の推進を示し、総合計画に掲げる将来都市像「人が生き、人が集

う夢のある田園交流都市」の創造に向け、私の持てる力を最大限発揮し市政運営に努めてまいりました。

この間、国政においては不安定な状況が続く、国家の将来を見据えた中長期的な政治課題の多くが先送りされるなど、憂慮される事態が続いてまいりました。

また、一昨年の 3 月 11 日には、東日本大震災が発生し、東日本の太平洋沿岸地域に甚大な被害をもたらすとともに、原子力発電所の事故による放射性物質の拡散や電力不足など数多くの問題を生じさせ、行政の災害対応、生産拠点やインフラ、エネルギー供給といった日本の社会構造のあり方に警鐘を鳴らすことにもなりました。

震災から間もなく 2 年が経過し、がれきの撤去やインフラの復旧は徐々に進んでいます。今なお、被災者の多くが仮設住宅での生活を余儀なくされるなど、復興への明るい兆しが十分に見えない状況にあると感じています。

将来の姿を見据え市政を前へ

こうした国政の停滞や大災害の発生などにより、混沌とした社会・経済情勢が続いてまいりましたが、私は、一貫して将来の大仙市のあるべき姿を見据えながら、その時々に対応すべき課題と向き合い、市民目線に立ち、一歩一歩堅実に、そして時にはスピード感を持って決断し、市職員と共に市政を前に進めてまいりました。(2 ページへ)

重点施策としては、仙北組合総合病院の改築を核とする市街地再開発事業をはじめ、医療・福祉や子育て・教育の充実、農業の振興、雇用の維持と産業振興、中心市街地の活性化、協働のまちづくりを実現する地域コミュニティの支援、東日本大震災における支援活動、震災を踏まえた防災対策の強化などに取り組みできました。

こうした取り組みは、少しずつ実を結びつつあると感じており、毎年実施している「市民による市政評価」では、まだ十分ではないものの、市政に対する満足度が多くの項目で上昇傾向にあります。また、高齢者福祉や子育て環境、安全安心といった「住みやすさ」の観点では、外部からも一定の評価を得ていると思っています。

また、目に見える形として、長年の懸案だった地域医療の拠点となる新病院の建物が平成25年度末までに完成予定であるほか、大曲駅前地区の土地区画整理事業や、新病院へのアクセス向上にもつながる都市計画道路の整備が進むなど、市の中心市街地に新しい街並みが形成されてきています。

さらに、地域協議会活動の活性化や地域枠予算の拡充、地域コミュニティの支援制度などにより、各所で主体的に行動する市民の姿を目にするようになり、大仙市が活力を持ち始めていくとも感じています。

合併の優遇期間は残り2年 取り組みは「待ったなし」

大仙市が誕生し8年となりますが、合併後10年間は、国からの交付金など財政面で優遇され、新しい自治体を作り上げていく特例期間とされています。これまでの「まちづくり」は、地域活性化を図る一方で、こうした優遇制度を活用し、行政基盤を強固なものとし、体力をつけ、一体性のある持続可能な大仙市を確立していくための期間でもありました。

この優遇期間が残り2年となり、今後は財政規模の縮小が避けられず待ったなしの取り組みが求められています。これまでに進めてきた施策に加え、組織機構の再編や財政改革、三セクや公共施設の見直し、学校規模適正化や福祉施設の法人化などにより大仙市の持久力は少しずつ高まってきたと考えていますが、多くの地方都市と同様、人口減少や雇用維持・産業振興などの諸課題が引き続き残っています。

課題解決に向け、これまでの施策を再検証し、なお一層、効果的、効率的な行政運営に努め、残り3年となる総合計画の達成を目指すとともに、その先を見据えた次のステージへと市政を成熟させていくことが、私に課せられた新たな責務であると考えています。

平成25年度

主要課題

1 第5次行動計画に基づき各種施策を実施 経済・雇用・生活緊急対策

自公連立による新政権が誕生し、国家の最大かつ喫緊の課題に「経済の再生」を挙げ、金融緩和・財政出動・成長戦略といった「3本の矢」による経済政策が打ち出されています。円安・株高傾向が続くなど、景気回復に向けた期待感が現れてきていますが、実体経済への反映はこれからであり、国内産業の空洞化や企業競争力の低下、長引くデフレの影響や電力供給の制約など、いまだ景気への不安定要素が残っています。

市では、平成21年3月の第1次計画を皮切りに、4次にわたる経済・雇用・生活緊急対策の行動計画を策定し、機動的かつ切れ目のない対策を行い、企業体力の維持や雇用の創出などに一定の成果を上げてきたと考えています。しかし、製造業における雇用調整の影響などで、ハローワーク大曲管内の昨年12月の有効求人倍率が0.48と引き続き低水準で推移し、雇用情勢を中心に厳しい状況が続いています。

これを踏まえ、市では新たな計画策定に緊急に着手し、この1月に、さるなる対策を盛り込んだ第5次行動計画を策定しました。今後はこの計画に基づき、市独自に1億円の「地域雇用基金」を設置するほか、雇用助成金や企業新事業展開応援事業の拡充、マル仙融資等による企業への資金供給、債務負担行為の設定による市単独事業の前倒し発注、住宅リフォーム助成事業や新規のプレミアム付き共通チケット発行事業による消費喚起など、さまざまな施策を実施していきます。

また、これと合わせ、国・県が打ち出す経済・雇用対策とも連動した施策を実行していくほか、さきごろ示された国の大型補正予算を積極的に取り込み、地域に必要な公共事業を推進していくなど、経済・雇用・生活の安定を図り、市民が活き活きと希望を持って活躍できるまちづくりを進めていきます。

2 新病院は、来年5月開院予定 市街地再開発事業

圏域住民の念願である仙北組合総合病院の改築を核とする大曲通町地区市街地再開発事業が、目に見える形として動き始めています。短期間に行われる県内でも大規模な事業として、各方面から注目されています。

現在は、病院棟の基礎と地下1階部分の建設工事が進められています。大雪の影響で工事に若干の遅れがありますが、4月からは地上工事に移行し、計画どおり平成25年度末までには北街区の整備が完了する予定です。

平成25年度は、総事業費の約6割を費やし全事業の約8割を完了させる、まさに事業のピークを迎える大切な1年です。計画通りに事業が進捗するよう、国・県、仙北市・美郷町などの関係機関との連携をこれまで以上に密にし、引き続き事業支援を行っていきます。

新病院については、平成26年5月の開院が予定され、圏域の中核病院として地域医療の中心的役割を担うものと期待されています。市では、病院建設を、設計から建設に至るまで「メイドイン大仙」を合い言葉に地元の力を結集して進めていきたいと考え、これまでも各業界に協力を求めてきましたが、26年度には、病院建設の財源として住民参加型市場公募債「だいせん夢未来債」を発行し、市民参加を呼び掛けていきたいと考えています。

また、病院周辺の環境整備として、ねむのき駐車場のリニューアルや、駐車場と新病院を結ぶ連絡通路の整備、駅前通線の歩道無散水施設の整備などを一体的に進めていきます。

平成26年5月開院予定の新病院(完成イメージ)



3 被災地の一日も早い復興を支援 災害廃棄物の広域処理

市では、被災地の一日も早い復興を支援するため、岩手県宮古市の災害廃棄物の受け入れを決定し、市民の皆さまの理解を得ながら、昨年4月から処理を行っています。開始から10カ月以上が経過しましたが、定期的に行っている放射性物質濃度の測定結果に異状は見られず、これまでに大仙美郷クリーンセンターで受け入れた廃棄物量は、1月末現在で約1,700トンとなっています。

今後の受け入れについては、さきごろ、国の災害廃棄物の処理工程表が改訂され、岩手県の可燃物の広域処理をおおむね今年の12月までに終了させる方針が示されています。当初は、宮古市の可燃物5,200トンを2年間で受け入れる計画でしたが、1,300トン減少し全体で約3,900トンとなる見込みです。

また、秋田県が受け入れを表明している岩手県の不燃物については、4月から野田村の約1万2,800トンの不燃物を協和地域の秋田県環境保全センターで処理する方針が示され、2月3日、県と市の合同により協和地域淀川地区住民を対象とした説明会を開催しました。

説明会では、県から廃棄物の状態や分量、搬入・処理の方法、放射性物質に関する安全確認などについて説明がありました。市からは、旧協和町時代からの懸案となっていた、同センターの埋立処分場より川下に位置する淀川地区簡易水道の水源地移設と農業用水路の切り替えに対し、県の支援を受けられる目処が立ったことなどを報告しています。

地元住民からは、先行している仙北市での不燃物受け入れに関する質問や、放射性物質濃度の測定頻度を増やして欲しいなどの要望があり、今後県では、測定頻度等について住民と協議を進めるほか、野田村の現地視察などを行い、受け入れ処理への理解をより深めていくこととしています。(関連記事7ページ)

※「主な施策の概要」に掲載している各事業の予算は、平成 25 年第 1 回大仙市議会定例会の議決を経て成立します。

仲間とふれあい ともに活躍できるまちづくり

【コミュニティFM開局に向けた調査】

災害時にはリアルタイムに情報を伝達できるラジオの特性が有効であり、地域に密着した情報を発信することで、まちの活性化も期待できることから、平成 27 年夏頃の開局を想定し調査を進めます。

【携帯電話の不感地帯の解消】

西仙北地域の大沢郷榎ヶ平地区に移動通信鉄塔施設を整備します。

【DV 防止と被害者の自立支援】

平成 24 年 3 月に策定した「大仙市 DV 防止基本計画」に基づき、取り組みを進めます。

【国際交流の推進】

国際教養大学との国際交流に関する連携プログラム協定に基づき、留学生と児童・生徒・園児の交流事業を継続するほか、国際フェスティバルの開催や国際交流員による出前講座、在住外国人や語学ボランティアの市防災訓練への参加支援などにより、市民の多文化理解や外国人のサポートを推進します。

【少子化対策としての結婚支援】

市民との協働プロジェクト「街コン」イベントを継続展開するほか、各種団体や個人が実施する独身者の出会いイベントの周知などを支援します。

【「ふるさと納税」寄付金活用事業】

寄付金を活用した初めての事業として平成 23 年度から「ふるさと納税文庫整備事業」を実施。平成 25 年度は小・中学校の文庫を拡充するとともに、保育園や幼稚園などに文庫整備の対象を広げます。

平成 25 年度は、新たな事業として市の観光 PR 映像製作に取り組み、映像素材を募集するコンテストを実施します。

環境と調和し快適で 安全に暮らせるまちづくり

【公共施設への

再生可能エネルギーの導入】

防災拠点施設として最低限の機能維持を図り、環境負荷の少ない地域づくりを進めるため、西仙北ぬく森温泉ユメリアに太陽光発電・蓄電池システムと温泉排熱を利用したヒートポンプ設備を導入するほか、大曲南中学校と南外中学校に太陽光発電・蓄電池システムを導入します。

【一般廃棄物の減量化・再資源化】

見直しを行っている一般廃棄物処理基本計画に基づき、雑紙リサイクル袋の配布などを通じて雑紙類の回収率向上に取り組みます。

【住宅用火災警報器の普及啓発】

昨年 11 月の調査で、市内の設置率が 66.7%と県全体の 75.8%を大きく下回ったことから、設置率を 10 ポイント以上向上させることを目標に、市民を対象にした購入助成を実施します。

【自主防災活動の支援と促進】

防災訓練への市民参画の促進のほか、防災出前講座、防災装備品の配布などを実施。自主防災組織の立ち上げ支援を強化するほか、活動費助成や防災士資格の取得支援などを引き続き行います。

【空き家対策】

自治会や自主防災組織を巻き込んだ適正管理体制の構築に取り組みます。

【住宅環境の整備】

住宅・建築物の耐震改修への助成を継続するほか、市民ニーズの高い住宅リフォーム支援事業を引き続き実施します。

【市営住宅の整備】

耐震性が低いと判定された大曲地域の上大町市営住宅の耐震化を行います。

生活の基盤が整った まちづくり

【都市計画道路中通線の整備】

JR 線アンダーパス部分から市道四ツ屋大曲線に接続する区間の平成 25 年度供用開始に向け、道路築造・舗装・消融雪施設の各工事を実施します。

【市道の整備】

南外地域と西仙北地域を結ぶ南外 1 号線の改良工事を引き続き進めるほか、既存道路の機能維持に重点を置き、各路線の必要性・緊急性を考え合わせた上で道路改良を行います。

【市が管理する橋梁の老朽化対策】

平成 23・24 年度に実施した点検結果をもとに、橋梁長寿命化計画を策定し、予防的な修繕と計画的な架け替えを進めます。

【上水道事業工事前倒し発注】

県の大曲橋架け替え事業に伴う配水管移設工事とその他の配水管改良工事 2 件を、経済・雇用・生活緊急対策として平成 24 年度末までに前倒し発注します。

【簡易水道の整備】

新火葬場の建設着手に合わせ、神岡地域の神宮寺地区簡易水道の区域を拡張し配水管布設工事を実施。また、西仙北地域の木原田地区等の水道 2 組合で水源等の施設が老朽化していることから、大沢郷地区簡易水道の区域を拡張するための手続きを進めます。協和地域では、淀川地区簡易水道の代替水源の調査を実施するほか、中央地区簡易水道の宮ヶ沢浄水場で水量・水質の悪化や浄水施設の老朽化が著しいことから、浄水施設等の更新に向けた地質調査などを実施します。

【公共下水道・農業集落排水の整備】

処理場施設等の長寿命化に向け、電気・機械設備などの劣化状況を調査します。

生き活きと希望を持って 活躍できるまちづくり

【農産物の付加価値向上と所得拡大 ・ 6 次産業化の推進】

加工・貯蔵施設の整備に取り組む農業法人への支援を本格化するほか、意欲ある経営体の活動費や販売促進経費などの助成事業を実施します。

【農家指導体制の強化】

各地域の農業総合指導センターを統合。4 月から新たな大仙市農業総合指導センターとして活動を開始します。

【就農支援と担い手育成】

西仙北地域に新たに西部新規就農者研修施設を開設します。

【林業振興】

間伐事業や森林林業の集約化などを支援。秋田スギの安定供給を図り、地球温暖化・災害防止など森林が有する多面的機能の維持に取り組むほか、地場産材の利用拡大を推進します。

【観光振興】

各地域の観光協会等を一本化した「大仙市観光物産協会」が 4 月に活動を開始。10 月から 12 月まで開催される「秋田アスティネーションキャンペーン」に参画し、市の観光資源を全国に発信します。

【首都圏での大仙市 PR イベント開催】

11 月に東京の有楽町で開催予定。首都圏ふるさと会の方々の協力を得ながら、物産販売やご当地グルメ、ステージ発表などを通じて大仙市の魅力を PR します。

【企業誘致】

秋田県企業誘致推進協議会主催の企業立地セミナー等への参加、県企業立地事務所への職員派遣、合同企業訪問や県の大規模工業団地整備事業の促進など、県と協調した活動を進めます。

未来を創り心豊かな人を 育むまちづくり

【児童・生徒の総合的学力の育成】

教科横断的な教育や本物に触れる体験活動、地域や関係機関との交流・連携などによる「キャリア教育推進『総合的な学力育成』事業」を立ち上げます。

【学習環境の整備】

学校生活支援員、保育支援員、発達サポートを合わせて 96 人配置。学習環境の充実を図ります。

【西部学校給食センターの建設】

平成 25 年度は基礎工事に着手し、太陽光発電設備の実設計を行います。

【旧北神小学校を利用した 音楽活動・住民交流施設の設置】

4 月から「大仙市音楽交流館」としてオープンし、地域の自主性を生かした施設運営を図ります。

【平成 26 年度の国民文化祭に向けて】

囲碁サミット、青少年の交流囲碁大会、旧池田氏庭園で民俗芸能や伝統文化を紹介するおもてなし事業、木村伊兵衛写真展、公募写真展の実施を予定。関係機関と協議し、具体的な計画づくりを進めます。

【スポーツ振興】

住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に市全域で参加します。第 35 回全県 500 歳野球大会を健康長寿や地域活性化を図るイベントとして全国に発信。応援する家族なども一緒に楽しめる交流イベントとしての大会企画を進めます。

【文化財保護】

旧池田氏庭園の利便性を高めるためのガイダンス施設を設置するほか、大曲地域の大川西根公民館内に、埋蔵文化財について学べる「遺跡のまなび館（仮称）」を開設する計画を進めます。

安心して健やかに 暮らせるまちづくり

【子どもや若者の

学校・社会復帰に向けた支援】

教育・福祉・雇用分野などの関係機関が連携し、ワンストップで相談などを受け付け、より効果的な支援を行うため「大仙市子ども・若者サポートネットワーク協議会」を設置します。

【介護予防】

人間総合科学大学の熊谷修教授による研究チームの指導のもと、65 歳以上の高齢者を対象に、市の健診時に血清アルブミン検査を実施します。

【子ども・子育て支援体制の整備】

西仙北地域に子育て拠点施設を新たに開設するほか、太田診療所で病児・病後児保育事業を実施します。仙北地域のひまわり児童クラブの建物が老朽化しているため、高梨小学校敷地内に新たな建物を整備します。

【乳幼児の発達支援】

3 歳児健診で小児科医から助言や指導をいただくほか、臨床心理士 4 人を配置し、保護者の育児相談に応じます。大曲仙北医師会、県臨床心理士会、県南児童相談所、大曲保育会、大空大仙、市の担当課などで構成する「大仙市乳幼児発達支援地域協議会」を設置。就学時までの一貫した支援を行います。

【子宮頸がん検診の環境整備】

20 歳から 39 歳までの女性を対象に、集団検診に加え市内の協力医療機関でも受診できるよう医療機関方式を導入します。

【国保税率の据え置き】

経済情勢が厳しく税の負担感が大きいいため、平成 25 年度の国保税率見直しでは、一般会計からの基準外繰り入れを行うことで税率を据え置きます。

むすびに

計画の推進にあたって

市民参画と行政の体制強化 協働のまちづくりへ

市の主要課題を解決し、施策を推進していくためには、行政側の推進体制の強化と、まちづくりへの市民の積極的な参画が重要です。

地方分権の進展により、市町村への大幅な権限移譲や条例制定権の拡大などが行われ、地域特有の課題やニーズを踏まえた行政サービスの提供体制が整備されてきています。市では、部局のマネジメント能力向上による事務処理体制の強化や、関連条例の制定などを進めています。さらに、新たな第三次行政改革大綱の策定に取り組み、よりスピード感を持った対応と、より質の高い行政サービスの提供に努めます。

市民の積極的な参画については、新たに、「住民自治」に基づく自治運営の基本原則となる「自治基本条例」の制定に向けた取り組みを進めていきます。協働のまちづくりや、NPO 等の市民活動の促進効果も期待できることから、条例の検討段階から市民の皆さまに参画していただきたいと考えています。

将来に対する責任を持ち 市を次のステージへ導く

むすびになります。一昨年の東日本大震災では、地震や津波、原子力発電所の事故などにより、人々が長年にわたりに築いてきた生活の営みが一瞬のうち

に奪われました。そして、その惨状が同じ時代を生きる多くの人々の心に深く刻み込まれ、それぞれが、自然に対する謙虚な姿勢、命の尊さや絆の大切さなどを感じ、今自分に何ができるのかを懸命に考え、行動に移していきました。

私自身もその一人であり、何度か被災地に足を運ぶなかで、一個人として、そして市長として、今やるべきことを改めて考える契機となりました。

ドイツの社会経済学者であるマックス・ヴェーバーは、著書「職業としての政治」で、政治家にとって重要な資質として「情熱」「責任感」「判断力」の 3 つを挙げています。そして、この情熱は、単に感情に基づいたものではなく、仕事への奉仕として責任性と結びつかなければならず、そのために必要なものが冷静な判断力であるとし、「政治家にとって大切なのは将来と将来に対する責任である」と述べています。

今私がやるべきことは、合併特例期間が間もなく終了し、これまで以上に難しい市政運営が求められるなか、倫理観を高く保ち、情熱と判断力を失うことなく、各種施策に引き続き取り組み、将来に対する責任を持って、大仙市を次のステージへと導いていくことだと考えています。

市民一人一人が将来に希望をもち安心して暮らせる地域社会を実現するため、市民の皆さまのご支援・ご協力をお願いします。



3月25日(月)から4月5日(金)まで(土・日を除く)

大曲庁舎の窓口業務時間を 午後7時まで延長

【問い合わせ】

下表の実施課欄を参照

☎ 0187-63-1111

受け付けする業務の内容	実施課
住民異動の届け(転入届、転出届、転居届ほか) 印鑑登録 国民健康保険資格異動(保険証の交付等)	市民課 内線 130
戸籍に関する届け(死亡届、出生届、婚姻届ほか) パスポートの交付 ※要予約。申請不可 各種証明書の交付(戸籍、住民票、印鑑証明書、税務証明書)	
※住民基本台帳ネットワーク関係業務(住民基本台帳カードの申請、転入、転出の特例手続き)と公的個人認証業務は、取り扱ってできません。	
国民健康保険資格異動(高齢受給者証、限度額認定証の交付等) 後期高齢者医療資格異動 福祉医療の申請 国民年金資格異動	
税務証明書(所得証明、課税証明、納税証明ほか)の交付 市税の収納 納税相談	税務課 内線 110
転入・転出時の上水道開栓・閉栓 水道料金の収納	上水道課 内線 124
保育園の申し込み、相談 児童手当の申請 児童扶養手当、特別児童扶養手当の申請 放課後児童クラブの申し込み、相談	児童家庭課 内線 102

※業務内容については、事前に担当課にご確認ください。

転 勤や進学などで住民異動の多い3月下旬から4月上旬まで、大曲庁舎の各種届け出・交付・申し込みなどの窓口業務時間を午後7時まで延長します。現在、市民課のみ午後7時まで延長し戸籍・住民票、税務証明書等の交付を行っています。期間中は国民年金課、税務課、上水道課、児童家庭課も窓口業務時間を延長。住民異動に伴う各種手続きなどを一度に完了できるようにいたします。

◆**実施場所**／大曲庁舎
※受け付け業務は左表のとおり

◆**期間**／3月25日(月)から4月5日(金)まで(土・日を除く)
◆**時間**／午後5時15分～7時
※システム稼働時間の制約上、転入受け付け後の新たな住民票の交付や印鑑登録、国民健康保険証の交付が当日中に完了できない場合がありますので、午後6時30分をめぐり来庁ください。



作品を募集します

循環型社会形成推進キャラクター NOレジ袋推進標語

【問い合わせ・応募】

各支所市民サービス課

環境交通安全課 ☎ 0187-63-1111 内線 275

市 では、「一般廃棄物処理基本計画」の見直しに伴い、「ごみの減量化・再資源化に広く関心を持ってもらうため、「循環型社会形成推進キャラクター」と「NOレジ袋推進標語」を募集します。

入賞作品は、市広報紙やホームページのほか、「ごみ排出の手引き」などで使用させていただきます。(作品の著作権は市に帰属)

なお、入賞者は、7月4日(木)に開催する予定のシンポジウム「環境にやさしいまちづくり」で表彰します。

◆**応募資格**／市内在住の方
◆**応募規定**／すべて自作・未発表のもので、キャラクター、標語とも1人1点
※キャラクターは、正面から捉えたカラーの全身図。手書き、パソコンによる作成の別は問いません。

◆**応募方法**／各支所市民サービス課と環境交通安全課に用意している応募用紙に必要事項を記入し、作品と一緒に提出(郵送可)

◆**期間**／3月25日(月)から4月5日(金)まで(土・日を除く)
◆**時間**／午後5時15分～7時
※システム稼働時間の制約上、転入受け付け後の新たな住民票の交付や印鑑登録、国民健康保険証の交付が当日中に完了できない場合がありますので、午後6時30分をめぐり来庁ください。

◆**実施場所**／大曲庁舎
※受け付け業務は左表のとおり

◆**賞**／キャラクター、標語とも小・中学校の部と一般の部で審査。全4部門でそれぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点

○循環型社会形成推進キャラクター
小・中学生の部、一般の部
○NOレジ袋推進標語
小・中学生の部、一般の部
※最優秀賞は図書カード5000円分、優秀賞は同2500円分を贈呈

【問い合わせ・応募】
各支所市民サービス課
環境交通安全課
内線 275
〒014-18601
大曲市役所環境交通安全課
☎ 0187(63)1111
✉ kankyokotsu@city.daisen.akita.jp

※応募用紙は市ホームページ(<http://www.city.daisen.akita.jp>)からダウンロードできます。

※応募用紙のほか、はがき、メールでの応募も可能ですが、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業(学校名)、電話番号を必ず明記してください。

◆**応募締切**／4月30日(火) ※必着

Proud Japan

4月から秋田県環境保全センター(上淀川雨池沢)で岩手県野田村の 災害廃棄物(不燃系混合物)を受け入れる予定です

現 在、市では岩手県宮古市から災害廃棄物(可燃性がれきの受け入れを行っています。

1月25日に改訂された国の災害廃棄物処理工程表では、岩手県の可燃性がれきの広域処理をおおむね12月までに終了させる方針が示されています。これにより、大曲市での処理量は、当初の5200トから1300ト減少し、約3900トとなる見込みです。

一方、不燃系混合物(不燃物)については、昨年10月26日に環境省から秋田県に対し、再生利用が困難な岩手県野田村の不燃物(木くず、プラスチック片などが混じった土砂)1万8000トの受け入れ要請がありました。すでに仙北市が昨年12月から不燃物の受け入れを開始しており、今年12月末までに5200トを受け入れる計画です。

県では、仙北市の受け入れ予定分を除く1万2800トを地域住民の皆さんのご理解をいただいた上で、協和にある秋田県環境保全センター(上淀川雨池沢)で受け入れる方針を示しています。

2月3日には協和淀川地区住民を対象とした説明会を開催したほか、3月8日には野田村の災害廃棄物仮置場の現地視察を実施。受け入れの予定の不燃物(可燃性がれきの破碎・選別工程で排出される、木くずやプラスチック片などが混じった土砂)や各種測定工程・結果などを確認しました。このような受け入れ処理への理解を深めていく取り組みを進め、4月からの受け入れを目指しています。

これを受け、市では県環境保全センターでの受け入れについても、これまでの可燃性がれきの受け入れと同様に市民の皆さんの安全確保を大前提に、受け入れに協力していきたいと考えています。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ】
秋田県生活環境部
環境整備課
☎ 018(860)1624
環境交通安全課
☎ 0187(63)1111
内線 275



国民健康保険、後期高齢者医療保険 人間ドック助成

【問い合わせ・申請】

各支所市民サービス課

国保年金課 ☎ 0187-63-1111 内線 144・145

3月中旬に郵送します 国民健康保険 高齢受給者証

現在、1割負担に該当している70歳から74歳までの方の受給者証には、一部負担金について「2割(平成25年3月31日までは1割)」と表記されていますが、4月1日から平成26年3月31日まで「1割」に据え置かれました。表記が変わった新しい受給者証は、3月中旬に郵送します。

※受給者証の有効期限は、7月31日です。

【対象】
国民健康保険
35歳以上の方で、国民健康保険税を滞納していない世帯の方

【後期高齢者医療保険】
後期高齢者医療保険料を滞納していない方

◆**助成額**／年1回助成予定
【日帰りドック】
1万3000円
【宿泊ドック】
2万5000円

◆**申請開始**／4月1日(月)
◆**持参するもの**／保険証、印鑑
※全額自己負担した方は、領収書、通帳等の口座番号が分かるもの、結果通知書

◆**協力医療機関**／
【大曲市】
仙北組合総合病院、大曲中通病院
【仙北市】
市立角館総合病院
【横手市】
平鹿総合病院(国保のみ)
【秋田市】
中通病院、中通健康クリニック、秋田赤十字病院、秋田県総合保健事業団

訂正とおわび

だいせん日和3月号秋田県知事選挙・大仙市長選挙のお知らせで、投票できる方の対象を平成4年4月8日以前に生まれた方と記載しましたが、正しくは平成5年4月8日以前に生まれた方です。訂正しておわびします。

4月1日申し込み開始
農業後継者育成
修学資金制度

申請書と募集要項は各支所農林建設課と農林振興課に用意しています。

◆貸し付け対象／市内在住の農業を営む方の子どもで、短大、大学、大学院、農業者大学校等で農業関係を専攻し、卒業後すぐに就職することが確実で、他の奨学金の貸与を受けていない方

◆返還免除対象／大学等を卒業後すぐに農業に従事し、7年間農業を専業とした方

◆返還対象／貸し付けの対象または返還免除対象に該当しなくなった方

◆申込期間／4月1日(月)から30日(火)まで(土・日、祝日を除く)

【問い合わせ・申し込み】各支所農林建設課
農林振興課 内線256

「くらしの歴史館」
4月から開館時間が
変わります

4月1日から、大仙市総合民俗資料交流館「くらしの歴史館」(旧峰吉川小学校)の開館時間が変わります。

◆開館時間／午前9時30分～午後4時30分

【問い合わせ】くらしの歴史館
☎018(895)2220

奨学金償還免除制度

大仙市奨学生の方で次の要件をすべて満たす方は償還金の半額が免除されます。詳細は問い合わせください。

◆償還免除の要件／
①平成22年度から26年度までに4年生大学を卒業し、その後大仙市に5年以上住民登録している

②県内に本社がある事業所に勤務、または自営業に従事している

③全償還金の半額をすでに償還している
【問い合わせ】
教育総務課 内線334

4月1日から
指定管理者が変更

指定管理者／特定非営利活動法人大仙スポーツクラブ

◆指定管理期間／4月1日から平成30年3月31日まで

◆指定管理施設／
神岡中央公園屋内多目的施設、神岡中央公園テニスコート、大仙市神岡テニスコート、大仙市神岡体育館、中川原運動公園、大仙市営中川原グラウンド、大仙市営神岡野球場、大仙市神岡農村広場

※神岡中央公園、中川原コミュニティ公園、笹倉公園の3施設は、市直営となります。4月1日以降の問い合わせは、神岡支所農林建設課(☎0187(72)4609)へお願いします。

【問い合わせ】
神岡中央公園
屋内多目的施設(嶽ドーム)
☎0187(72)2721

農振除外相談

農業振興地域内の農用地に指定された土地を農地以外に転用するには農振除外の手続きが必要です。(次の要件をすべて満たす必要あり)

◆農振除外要件／
①必要性および緊急性があり、ほかに代替すべき土地がないこと
②農地の集団化、農作業の効率化等への支障がないこと
③効率的で安定的な農業を営む農家等に対する農用地の利用集積に支障がないこと

④農業用施設等の機能に支障がないこと
⑤土地改良事業等の工事が完了した年度の翌年度から8年以上を経過した土地であること
※他法令(都市計画法、農地法など)の許可見込みがあること

◆相談受付期間／
5月15日(水)まで(土・日、祝日を除く)
◆相談窓口／各支所農林建設課、農林振興課
【問い合わせ】
各支所農林建設課
農林振興課 内線256

調査票は、自作地のある
農業経営主の方に
送付します

調査票は、自作地のある農業経営主の方に送付します。

◆指定管理期間／4月1日から平成30年3月31日まで

◆指定管理施設／
神岡中央公園屋内多目的施設、神岡中央公園テニスコート、大仙市神岡テニスコート、大仙市神岡体育館、中川原運動公園、大仙市営中川原グラウンド、大仙市営神岡野球場、大仙市神岡農村広場

【問い合わせ・提出】
大曲地域以外の方
各支所農林建設課
○大曲地域の方
農林振興課 内線256

ライター類のごみの
出し方が変わります

ごみ収集車の火災事故が発生しているため、4月からライター類のごみの出し方が変わります。次のことを守って出すようお願いします。

※ライター類のごみの出し方はだいせん日和3月号お知らせ版と一緒に配布している「平成25年度版大仙市ごみ排出の手引き」にも掲載しています。

①必ず中身を使い切る
※操作レバーを押し下げた際に「シュー」と音がる場合は中のガスを抜いてください。
②指定のごみ袋ではなく、透明なビニール袋に入れて出す
③袋に集積所番号または町内名と氏名を記入する
④「燃やせないごみ」の日に出す

※ライター類を入れた指定ごみ袋(燃やせないごみ袋)や中身が残っているライター類の入った透明なビニール袋は回収しませんのでご注意ください。
【問い合わせ】
各支所市民サービス課
環境交通安全課
内線275

4月から「難病等」の方も対象になります

平成25年4月1日から、これまでの「障害者自立支援法」に代わり「障害者総合支援法」が施行されます。

障害者総合支援法では、障がい者の定義に難病等が追加され、対象となる方は障害福祉サービス等を利用できるようになりました。

◆申請方法／各支所市民サービス課と生活支援課に留意している申請書に必要事項を記入し、対象疾患であることが分かる証明書(診断書または特定疾患医療受給者証など)を提出

【問い合わせ】
各支所市民サービス課
生活支援課 内線177

人口と世帯数

2/28現在
人口 88,602人 (-87)
男 41,569人 (-38)
女 47,033人 (-49)
世帯数 31,052世帯 (-7)

出生 37人
死亡 119人
転入 97人
転出 102人

忘れずに
届け出してね
水道局マスコットキャラクター
ぼたぼん



住居異動の際は
届け出を忘れずに
上水道の開栓・閉栓

4月は転出や転入による住民異動が多くなる時期です。住居が変わる場合は、必ず上水道の開栓または閉栓の届け出をしてください。

【問い合わせ・届け出】
水道局上水道課
内線123・124

下水道接続を資金面で支援
融資あっせん制度
下水道使用料6カ月無料制度

市では、利用者が下水道に接続しやすいよう、下水道接続工事のために金融機関から借り入れた金利を市が負担する「融資あっせん制度」や「下水道使用料を6カ月無料」にする制度を設け、資金面で下水道接続を支援しています。制度の詳細は、問い合わせください。

◆融資あっせん制度
トイレを水洗に改造しようとする方を対象に、工事費用で借り入れた金利を市が負担し、金融機関から実質金利0円で融資を受けられる制度です。

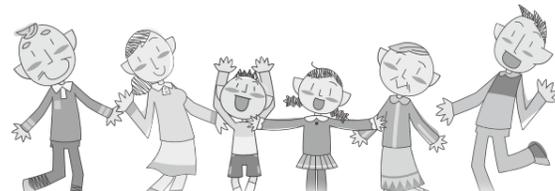
◆下水道使用料6カ月無料
下水道工事完成から3年以降の地域に住む方
◆融資あっせん制度
申請手続きは、下水道接続工事業者が行います。対象／下水道に接続するため、新たに排水設備工事を行った方
免除額／下水道排水工事の検査日から6カ月間の下水道使用料

【問い合わせ】
下水道課 内線293



市の各種保健・福祉サービス

市の各種保健・福祉サービスを紹介します。
現在利用している方も、新規に申し込む方もサービスの利用には申請が必要です。
詳しい内容については、問い合わせください。



皆さんが安心できる暮らしを支援します

市では、誰もが安心して暮らせるよう各種保健・福祉サービスの充実に努めています。

申請受け付け開始
4月1日(月)

高齢者支援・介護予防

介護予防デイサービス

給食、入浴、体力向上トレーニングなどで健康増進を図り、要介護状態にならないための自立した生活を支援するサービスです。
◆対象／おおむね60歳以上の方(要介護、要支援と認定された方を除く)
◆自己負担額／1回700円
◆利用可能日時／月曜から金曜日まで(祝日を除く)の午前9時30分～午後4時
◆会場／いきいきサロンえみのくち、紫陽花館

家族介護慰労金支給

自宅で高齢者を介護している方に月額5,000円(限度額年6万円)を助成します。
4月からの支給を希望する方は、3月中に申請してください。
◆対象／市民税非課税世帯で、要介護4・5と認定された在宅高齢者を同居しながら介護している方
※特別障害者手当を受給している方は対象となりません。

家族介護用品支給券交付

介護用品を購入できる支給券を交付します。4月中の申請をお願いします。(その後も随時受け付け)
◆対象／市民税所得割非課税世帯で、要介護4・5と認定された高齢者を同居しながら介護している方
◆交付枚数／年間40枚まで
※1枚で1,250円分利用できます。

軽度生活援助

外出時の援助、食材の買い出し、家周りの手入れなど、軽度な日常生活の援助が受けられる利用券を交付します。利用券は、1枚につき1時間以内の援助に使用できます。
◆対象／おおむね65歳以上で、一人暮らし世帯または高齢者のみの世帯の方
◆自己負担額／1回250～350円(課税状況による)
◆交付枚数／年間36枚まで(月3枚)

はり・きゅう・マッサージ 施術券助成

1回の施術につき800円を助成する「施術助成券」を交付します。この助成券は、市が指定する施術所で使用できます。
◆対象／70歳以上の方
◆交付枚数／年間12枚

温泉ふれあい 入浴サービス券助成

市関連の温泉施設で使用できる半額券・無料券を交付します。
◆対象／【半額券】60歳から69歳までの身体障害者手帳等をお持ちの方、70歳から79歳までの方
【無料券】80歳以上の方
◆交付枚数／年間12枚

各サービスの申請の際は、印鑑と身分確認ができるもの(健康保険証など)を忘れずにお持ちください。

【問い合わせ・申請】

各支所市民サービス課
地域包括支援センター中央
☎0187-63-1111 内線178

※平成25年4月から地域包括支援センターの呼び名が「高齢者あんしん相談室」に変わります。詳細は、だいせん日和4月号でお知らせします。

障がい者支援

特別障害者手当等

重度の障がいがあり、日常生活で常時特別の介護が必要で、要件に該当する方に手当を支給します。
【特別障害者手当】
対象／障害者年金1級程度の状態を基本とし、規定の要件に該当する20歳以上の方
手当額／月額2万6,260円
【障害児福祉手当】
対象／重度の障がいのため常に特別の介護を必要とする20歳未満の方
手当額／月額1万4,280円

人工透析通院費支給

人工透析の通院治療を受けている方で通院距離が片道5km以上の方に通院費を助成します。申請した日から助成の対象となります。
◆助成額／往復通院距離(km)×10円×通院回数

障がい者(児)タクシー券給付

1回の乗車につき600円を助成するタクシー券を交付します。
◆対象／障害者手帳1級～3級の方(3級は下肢・体幹・呼吸器・視覚に障がいのある方、人工透析を受けている方)、療育手帳Aの方、精神障害者保健福祉手帳1級の方 ※施設に入所中の方、自動車税・軽自動車税の減免を受けている方、人工透析通院費の助成を申請する方は対象外
◆交付枚数／年間24枚まで(月2枚)
◆持参するもの／各障害者手帳・印鑑

【問い合わせ・申請】

各支所市民サービス課
生活支援課障がい者支援班
☎0187-63-1111 内線162

母子保健

母子健康手帳・妊婦健診受診票の交付

妊娠中の方を対象に健康増進センター各分室で母子健康手帳、妊婦健診受診票を交付しているほか、妊婦健康相談を行っています。交付日時などの詳細は、お住まいの地域の健康増進センター各分室にお問い合わせください。

パパ・ママ教室

まもなく父親・母親になる方を対象に、妊婦体操や赤ちゃんのお風呂の入れ方などを助産師・保健師と一緒に練習します。対象の方には通知が届きますので、ご確認ください。

特定不妊治療費・不育症治療費助成

体外受精治療費、人工授精治療費、不育症治療費の一部を助成します。詳細は、健康増進センターにお問い合わせください。

こんにちは赤ちゃん訪問

生後2カ月から4カ月までの子どもがいるすべての家庭を保健師や助産師が訪問します。体重の計測や母子の健康状態の把握・指導、予防接種や子育て支援に関する情報提供、子育て相談などを行っています。対象の方には事前に電話でご連絡します。

【問い合わせ】

健康増進センター中央・西部・東部
健康増進センター
☎0187-62-9301

子育て支援

児童手当

中学生までの子どもを養育している世帯に支給されます。子どもが生まれた時、転入した時に忘れずに申請してください。
◆対象／中学校卒業前(15歳になった後、初めて迎える3月31日まで)の子どもを養育している世帯
◆支給月／6月・10月・2月

児童扶養手当

ひとり親家庭などが支給対象です。手当を受給するためには、申請が必要です。
◆対象／18歳になった後、初めて迎える3月31日までの子どもを養育しているひとり親世帯
◆支給月／4月、8月、12月

特別児童扶養手当

身体または精神に障がいがある子どもを養育している方に支給されます。手当を受給するためには申請が必要です。
◆対象／20歳未満の障がいがある子どもを養育している世帯
◆支給月／4月・8月・11月

ファミリー・サポート・センター

子育てを手助けしたい方(サポート会員)が手助けを受けたい方(ファミリー会員)の援助活動を行います。援助活動を受けるためには、事前に登録が必要です。詳細は、問い合わせください。

【問い合わせ・申請】

各支所市民サービス課
児童家庭課 子育て支援班・家庭支援班
☎0187-63-1111 内線102・103・129

放課後児童クラブ

児童に遊びや生活の場を提供し、保護者が安心して働ける環境づくりを支援します。
◆対象／保護者が仕事などで放課後に家にいない、小学1年から3年までの児童
◆時間／【月曜～金曜日】午後1時～7時
【土曜・学校休校日】午前7時30分～午後7時
※日曜、祝日、8月13日～15日、12月29日～1月3日は休み
◆利用料／月額6,000円(2人目以降3,000円)
※生活保護世帯は無料、ひとり親家庭は1人目3,000円・2人目以降1,500円

病児・病後児保育

病気中や回復期のため保育園などに通えない児童を病院の施設で一時的に預かり、保護者が安心して働ける環境づくりを支援します。
◆対象／0歳から小学3年までの子ども

◆時間／【月曜～金曜日】午前8時～午後6時
【土曜日】午前8時～午後1時
◆利用料／1日1,000円
※生活保護世帯は無料、市外在住者2,000円
◆実施施設・利用申請／吉村クリニック(戸蔭谷地添71-1)
☎080-5577-0566
生和堂医院(刈和野清水院後15-2)
☎0187-87-3070

～ 地域芸術文化の振興に貢献された個人・団体を表彰 ～

第7回 大仙市芸術文化賞

芸術文化活動に貢献した個人や団体をたたえる大仙市芸術文化賞。

市内の芸術文化団体の意欲を高め、活動の奨励を図ることが目的です。

地域芸術文化の振興に貢献された4人が功労賞、1人が奨励賞を受賞されました。



信田 鐵夫 さん 短歌
79歳 = 中仙 =

平成10年から地元豊岡短歌同好会会長を歴任、会員の融和や作品の創作活動に取り組む。大仙市芸術文化協会中仙支部長の任期中は機関誌「芸文中仙」の発刊や絵画・書画等の作品展示の開催に尽力。20年からは大仙市芸術文化協会会長として芸術文化活動の振興と発展に寄与。24年から大仙市芸術文化協会名誉会長に就任。



功労賞



長澤 秀二 さん おもと
80歳 = 神岡 =

昭和60年に神岡おもと愛好会を発足させ、以来会長として会の発展に貢献。平成6年に大曲・仙北おもとの会に入会後16年まで会長を務め、会の運営や指導に尽力。18年から(社)日本おもと協会秋田県支部の副会長として秋田県のおもと発展に貢献。また、神岡芸術文化協会会長、大仙市芸術文化協会神岡支部長、同協会副会長として活躍。



功労賞



高橋 昇幹 さん 民謡
(本名・高橋留治)
70歳 = 太田 =

昭和54年に民謡尺八昇風流家元加藤昇風氏に師事。57年に太田町民謡同好会を設立し、会長に就任。数多くの各種大会優勝者を輩出。また、秋田おほら節全国大会の開催に当初から携わり、以降17年間副実行委員長として大会を成功に導く。平成22年からは、大曲農業高校太田分校の全校民謡の講師として、秋田民謡の伝承と普及に尽力。



功労賞



田口 新一 さん 美術(書)
(雅号・清風)
84歳 = 西仙北 =

昭和56年に漱雲会刈和野支部に入会し佐藤春陽氏に師事。平成5年に同会秋田支部、18年に清風会を設立し、書・刻字を研究。熱心な指導力に定評があり、会員の信頼も厚く、後継者育成に精励。会員展示や個展を開き、書・刻字の素晴らしさを伝えるなど芸術文化の振興に貢献。現在は大仙市芸術文化協会西仙北支部の理事を務めている。



功労賞



大仙市芸術文化賞を受賞された皆さん(写真前列左から由利さん、田口さん、高橋さん、長澤さん、信田さん)



由利 佳苗 さん 舞踊
(モダンバレエ)
49歳 = 横手市 =

8歳からモダンバレエを始め、卓越した表現力と創作力で頭角を現す。早稲田大学3年時には文化庁芸術家国内研究員(全国から6人選出)として専門研修を受講後、後進指導と自らの創作力に磨きかけた。卒業後は教諭となり、東部学校体育実技講習会(札幌市)表現運動研修の伝達講習講師として県南の教員の指導やダンスを取り入れた授業を展開。



奨励賞

～ スポーツの発展に尽力された方や各種競技で優れた成績を取めた個人・団体を表彰 ～

平成24年度 大仙市スポーツ賞

市のスポーツの発展に尽力された方や各種競技で優れた成績を

取めた個人・団体に贈られる大仙市スポーツ賞。

1人が功労賞、1人が優秀指導者賞、4人が栄光賞、

86人と25団体が奨励賞を受賞されました。



吉田 幸吉 さん 卓球
75歳 = 大曲 =

昭和55年に大曲市卓球連盟(現・大仙市卓球連盟)事務局長、以降、副会長、会長を歴任。57年には現在の大仙ジュニアクラブ卓球スポ少の前身である大曲児童卓球クラブの立ち上げに参加。59年に秋田県で開催された全国高等学校総合体育大会では審判員を務める。平成18年から大仙市卓球連盟顧問として競技の普及・拡大に尽力。



功労賞



高田 恵美子 さん なぎなた
61歳 = 仙北市 =

昭和60年から秋田県強化指定選手に対し、なぎなたを指導。全国大会で上位入賞する選手を育成、輩出してきた。第67回国民体育大会なぎなた競技会で、秋田県初の少年女子試合競技第3位入賞を果たした選手を指導し、好成績を導き出した。平成20年からは大仙なぎなた連盟副理事長、秋田県なぎなた連盟副理事長を務めている。



優秀指導者賞

- 栄光賞(個人)**
- 【空手道】藤田英憲(秋田高3・中仙)
 - 【なぎなた】矢野千尋(大曲農業高3)、佐々木美紀(同)、本多幸生(大曲高3)
 - 【陸上競技】高橋成美(大曲中3)、山信田有太(横手清陵学院高1・大曲)、鈴木慶一(横手清陵学院高2・大曲)、熊谷千鶴(大曲高2)、高橋一生(大曲工業高3)、山岸佳貴(同)、児玉柚稀(大曲高3)
 - 【水泳】中原来輝(大曲小4)、中原樹人(同6)、関優菜(大曲高1)
 - 【サッカー】富樫咲心(神岡小4)、佐々木蓮(大曲小5)、佐藤瑠南(花館小6)
 - 【バレーボール】板垣里奈(秋田北高3・西仙北)
 - 【自転車競技】佐々木文平(大曲農業高2)、大坂栄貴(同)、草薙駿(大曲農業高3)、長澤友宣(大曲農業高太田分校3)
 - 【ソフトテニス】福田麗優(大曲中1)、高橋彩耶(大曲中2)、佐々木千明(大曲中3)、小山莉奈(同)
 - 【卓球】加藤香菜(大曲小6)、菊地実佳子(大曲中2)、小田嶋雅花(大曲中2)、後藤奈津美(大曲高3)
 - 【馬術】山崎詩乃(角館高2・大曲)
 - 【柔道】伊藤哲(大曲中3)、後藤政也(仙北中3)、佐々木輝(大曲農業高3)、今野慎哉(秋田工業高3・大曲)、伊藤明日香(秋田商業高3・大曲)
 - 【バドミントン】鈴木海里(大曲小4)、松田羽奏(神岡小6)、鈴木遥香(大曲中1)、伊藤悠貴(西仙北中2)、福田伊織(同)、佐々木梨子(同)、本川文勝(大曲中3)、豊巻栞(西仙北中3)、正木紗捺(同)、福田未悠(秋田北高2・西仙北)、佐藤想(秋田北高3・神岡)、阿部美沙(横手城南高3・神岡)
 - 【剣道】田越滉平(大曲南中3)
 - 【登山】堀野拓也(大曲高2)、佐藤元紀(同)、藤田寛大(同)、鈴木康太(同)
 - 【空手道】武田魁剛(大曲小1)、高橋龍威(同)、武田迅(西仙北小1)、黒川朝陽(神岡小2)、藤田聖憲(清水小2)、佐藤朝陽(西仙北小3)、黒川大和(神岡小4)、菅原日向詩(大曲小4)、伊藤春野(高梨)

- 奨励賞(個人)**
- 小4、加藤遥(花館小5)、佐藤英里(大田南小5)、加藤拓(花館小6)、阿部真己(西仙北小6)、三浦那月(大田西根小6)、京極優香(西仙北小6)、佐藤創一(大曲中1)、佐藤諒(同)、藤原裕介(秋田工業高2・大曲)、菅直貴(同)、北村未来登(同)
 - 【なぎなた】辻原萌花(大曲小5)、古谷輪子(角館小5)、鈴木優翔(大曲中1)、藤嶋晴(大曲中3)、山信田泰輔(大曲高1)、小野寺理沙(大曲農業高1)、草薙奎菜(大曲農業高2)、吉田早紀(大曲高2)、今野咲紀(大曲高3)、茂木結華(同)、菅原仁子(同)
 - 【少林寺拳法】田村香帆(高梨小4)、畠中聖(横手高3・大曲)、加藤翔太(秋田大1・西仙北)
- 奨励賞(団体)**
- 【バレーボール】太田中学校バレーボール部、神岡あじさい
 - 【ハンドボール】大曲ミニハンドボールスポーツ少年団、大曲農業高校女子ハンドボール部
 - 【自転車競技】大曲農業高校自転車競技部
 - 【ソフトテニス】大曲中学校男子ソフトテニス部、大曲中学校男子ソフトテニス部(新人)、仙北中学校ソフトテニス部男子
 - 【卓球】大曲中学校女子卓球部
 - 【軟式野球】大曲ファイヤードリームズスポーツ少年団、花館ドッカーンズスポーツ少年団、角間川アレーブスJr.スポーツ少年団
 - 【柔道】大仙北
 - 【バドミントン】大曲中学校バドミントン部、西仙北中学校男子バドミントン部、西仙北中学校女子バドミントン部
 - 【剣道】大曲南中学校剣道部
 - 【登山】大曲高校登山部男子、大曲高校登山部女子(新人)
 - 【なぎなた】大曲農業高校なぎなた部、大曲高校なぎなた部、大曲高校なぎなた部(新人)
 - 【ドッジボール】太田風の子スポーツ少年団ハリケーン、太田風の子スポーツ少年団トルネード

大仙市の行事予定
3月16日土 ~ 4月2日火

- 3/16 土 西仙北地域行政相談
17 日 嶽六所神社奉納ぼんでん
18 月 協和地域行政相談
19 火 消費生活相談室「移動相談」
20 水 仙北組合総合病院・整形
21 木 神岡地域行政相談
22 金 サクラの手入れに関する講習会
23 土 ゆりあげ港朝市
24 日 大曲中通病院
25 月 市民課・国保年金課
26 火 消費生活相談室「移動相談」
27 水 消費生活相談室「移動相談」
28 木 子育てママの就職相談
29 金
30 土
31 日 仙北組合総合病院
4/1 月 農業後継者育成修学資金制度申し込み開始
4/2 火

休日救急医療 (仙北組合総合病院内) ※日曜日・祝日・年末年始
0187-63-2111

農業科学館 イベント情報 4月

【全日本写真連盟 大曲支部展「春」】
全日本写真連盟大曲支部の会員が「春」をテーマに撮影した写真を展示します。
期間/ 4月16日(火) から 5月2日(木)まで
開館時間/ 午前9時30分~午後4時30分
【問い合わせ】
県立農業科学館 (月曜休館)
0187-68-2300



あなたの献血で助かるいのちがあります

4月の献血日程

Table with columns: 期日, 時間, 会場. Lists blood donation dates and locations for April.

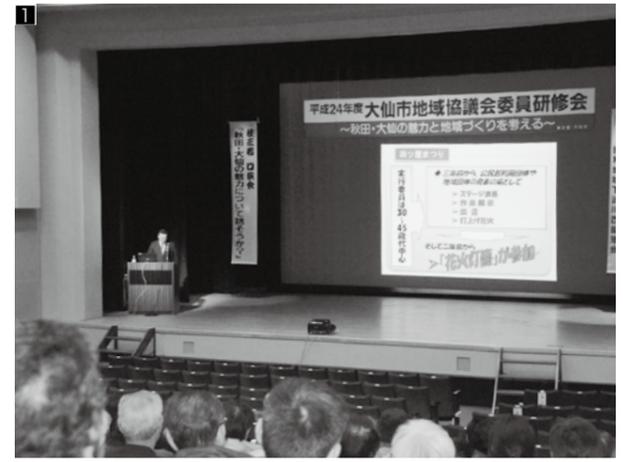
※会場・時間は、変更になる場合があります。
【問い合わせ・申し込み】
健康増進センター中央 0187-62-1015
西部 0187-75-0476
東部 0187-56-7211

見聞録 広報

大 住民一丸となった新たな取り組みなどを紹介
仙市地域協議会委員研修会

大仙市地域協議会委員研修会が2月9日、大曲市民会館で開かれ、約180人が参加しました。
「秋田・大仙の魅力と地域づくりを考える」をテーマに、集落や地域団体による新たな取り組みなどに対して市が初期支援をする「がんばる集落」活性化支援事業の紹介や事例発表などが行われた研修会。
また、研修会では、落語家で秋田お笑い大使の桂三若さんによる「秋田・大仙の魅力について話そうか?」と題した口演のほか、「がんばる集落」活性化支援事業についての相談会が行われました。

集落や地域団体による新たな取り組みの事例発表などを通じて、大仙の地域づくりについて考えた地域協議会委員研修会「がんばる」集落活性化支援事業を活用した新たな取り組みを紹介する四ツ屋地区コミュニティ会議の児玉さん(写真2)と協和地域下淀川西部落会「西結会」会長の鈴木さん(写真3)



故 長年の消防・防災活動の功績をたたえ
石川和雄さんが
死亡叙勲・瑞宝双光章を受章

元仙北町消防団長の故・石川和雄さん=戸地谷=が死亡叙勲として瑞宝双光章を受章しました。
昭和27年に高梨村消防団に入団した石川さんは、町村合併による組織再編を経て、昭和60年に仙北町消防団副団長、平成6年には同団長に就任。
死亡叙勲として瑞宝双光章を受章した故・石川さん



み 家族で楽しめる企画展を開催中
みんなで一緒にさんかく展

男女共同参画と国際交流をテーマにした「みんなで一緒にさんかく展」が3月2日から大曲図書館で開かれています。
家族向け講座で活用したオリジナル絵本づくりコーナーやダンボールを使った工作のほか、写真一行詩コンクール入賞作品、韓国文化紹介コーナーなど盛りだくさんの展示内容。
3月29日まで(午前9時~午後7時、休館日を除く)開かれていますので、ぜひお立ち寄りください。



「みんなで一緒にさんかく展」で、オリジナル絵本作りやダンボールの工作遊びを楽しむ子どもたち

イベント

募集

講習

スポーツ

お知らせ

イベント

募集

講習

スポーツ

お知らせ

地域の子育て家庭を応援 あきた子育てふれあいカード

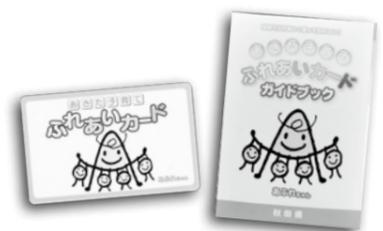
専用のステッカーが貼られている協賛店で提示すると、そのお店が設定した優待サービスを受けられる「あきた子育てふれあいカード」。

市では、カードと協賛店が載っているガイドブックを子育て家庭の方に配布していますので、ぜひご利用ください。

◆配布対象／中学生以下の子ども、または妊娠中の方がいる世帯

◆配付方法／各支所市民サービス課または児童家庭課でお渡ししています。

【問い合わせ】
各支所市民サービス課
児童家庭課
☎0187-63-1111 内線102



さまざまなお店の優待サービスを受けられる「あきた子育てふれあいカード」をご利用ください

4月はこの地域で行います 電気設備定期調査

◆対象／【大曲】愛宕町(角間川)、町頭【協和】宇津野、西窪、高見【神岡】関口、金葛、戸月、八石、高花、大浦、宮田【西仙北】寺館、杉山田、正手沢、生内、床畑、添ノ又

【問い合わせ】
東北電気保安協会大曲事業所
☎0187-63-4940

据え置きとなり、変わりません 協会けんぽの25年度保険料率

主に中小企業に勤めている方とその家族が加入する「協会けんぽ」。

平成25年度の健康保険料率は10.02%、40歳から64歳までの方が対象の介護保険料率は1.55%と据え置きになり、24年度の保険料率と変わりません。

協会けんぽの事業の詳細は、ホームページをご覧ください。

【問い合わせ・ホームページ】
全国健康保険協会(協会けんぽ)
秋田支部企画総務グループ
☎018-883-1841
<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

花の-artを多数展示 「たんぼぼの会」作品展

押し花やレカンフラワー、ガラスアートなどの作品を展示します。

◆期間／3月19日(火)から24日(日)まで

◆時間／午前9時～午後4時

◆会場／産業展示館

◆入場料／無料

【問い合わせ】
女性センター ☎0187-62-1713

恵雪書道教室 「書」ギャラリー展

「あーとで書」をテーマにした筆文字の世界をお楽しみください。

◆期間／3月3日(日)から30日(土)まで

◆会場／JR大曲駅ハミングロード

【問い合わせ】
伊藤さん ☎0187-63-4896

MIN-ON 歌謡コンサート 神野美伽「さあ、歌いましょう！」

◆日時／4月16日(火) 午後6時30分開演(午後6時開場)

◆会場／大曲市民会館・大ホール

◆チケット料金／5,000円

◆チケット販売／大曲市民会館、美音社、イノウエレコード店

【問い合わせ】
MIN-ON大曲 小松さん
☎0187-62-2268

お知らせ

Information

相談前に申し込みが必要です 社会福祉協議会の無料法律相談

◆日時／4月11日(木)

◆時間／午前10時～午後3時

◆会場／大曲市社会福祉協議会本所

◆定員／8人 ※相談時間は1人30分

◆申し込み開始／3月19日(火)

◆相談員／草薙秀樹さん(弁護士)

【問い合わせ・申し込み】
大曲市社会福祉協議会本所
☎0187-63-0277

あなたが世界のためにできること JICA ボランティア平成25年春募集

青年海外協力隊とシニア海外ボランティアを募集します。説明会を開催しますので、関心のある方はぜひご参加ください。

◆応募資格／
【青年海外協力隊】日本国籍がある20歳から39歳までの方
【シニア海外ボランティア】日本国籍がある40歳から69歳までの方
※年齢は平成25年5月13日時点

◆申込期間／4月1日(月)から5月13日(月)まで

◆説明会日時／4月14日(日) 午前10時30分～午後0時30分

【シニア海外ボランティア】
【青年海外協力隊】午後2時～4時

◆説明会会場／にぎわい交流館AU(秋田市「エリアなかいち」内)

【問い合わせ】
JICA東北 ボランティア担当
☎022-223-4772

イベント

Events

息の長い支援を続けよう ゆりあげ港朝市 買って応援市

東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県名取市関上地区。同地区の「ゆりあげ港朝市」の復興を支援する応援市を「土屋館わいわい広場」にあわせて開催します。

◆日時／3月23日(土) 午前10時～午後2時

◆会場／花火通り商店街「わいわい広場」会場内(ペアーレ大曲前)

【問い合わせ】
事務局 辻さん ☎080-1265-7035



応援市では関上地区の水産加工品を販売。ぜひ応援市にお越しください。

初心者の方も歓迎します 太極拳無料体験講座

◆期日／4月5日から5月24日までの毎週金曜日(祝日を除く)

◆時間／午前10時～11時30分

◆会場／はびねす大仙

◆講師／小西チヨさん

【問い合わせ・申し込み】
はびねす大仙 ☎0187-88-8722

募集

Invitation

障がい者相談支援センターかしわ 「カラオケしよう！」参加者募集

バリアフリーのカラオケ店で一緒に盛り上がりませんか。歌わずに雰囲気を楽しみたいという方の参加もお待ちしております。

◆対象／障害者手帳があり、在宅で生活している方

◆日時／3月25日(月) 午後1時30分～3時30分

◆会場／AQA大曲店(花館74-1)
※送迎希望の方はご相談ください。

◆定員／8人

◆参加費／500円(別途、飲食代等)

【問い合わせ・申し込み】
大仙障がい者相談支援センター かしわ ☎0187-87-7300

大曲市シルバー人材センター 会員募集

これまで培ってきた経験や技術を生かして働きたい、社会の役に立ちたい、何らかの収入を得たいという方の入会をお待ちしています。

◆対象／市内在住の60歳以上の方で、健康で働く意欲のある方

◆主な作業内容／草刈り、植木の枝切り、大工仕事、掃除、毛筆筆耕、家事援助、日直代行など

※自宅や会社での作業に人手がほしいという方は気軽にご連絡ください。

【問い合わせ・申し込み】
大曲市シルバー人材センター(大曲川原町4-1 大曲技術専門学校向かい)
☎0187-62-4343

講習

Course

生ごみ減量はあなたの台所から EM活用勉強会

環境にやさしいEM(有用微生物群)活用のための基本を学びます。

生ごみ堆肥用のぼかし作りや食用廃油を利用した石けんづくり、EM有機資材を使った自然農法などを学んでエコ生活に役立ててみませんか。

◆日時／3月23日(土) 【初級講座】午前9時30分～正午 【EMスキルアップ講座】午後1時30分～4時

◆会場／女性センター(大曲大町)

◆定員／各15人

◆受講料／各500円(資料代)

◆講師／川辺公雄さん(自然農法菜園アドバイザー)

【問い合わせ・申し込み】
大曲市EMによる環境浄化研究会 太田さん ☎0187-63-6080

子どものための 日本舞踊体験教室

ゆかたを着て、正座・おじぎなどの作法や童謡に合わせての踊りなどを体験してみませんか。

◆対象／就学前でおむつが外れた子ども

◆期日／3月24日(日)・25日(月)・26日(火)

◆時間／午前10時30分～11時30分

◆会場／藤間流日本舞踊稽古場(大花町9-6-18)

◆受講料／
【初回】1,500円(諸経費込み)
【2回目以降】500円

◆定員／10人

◆申込期限／3月17日(日)

◆持参するもの／ゆかた一式(ゆかた・帯・ひもなど)、白足袋
※貸し出し可(別途、クリーニング代300円)

【問い合わせ・申し込み】
藤間流藤間会子ども教室
☎0187-62-0469

情報収集や資料作成、打ち合わせなどに

まちづくり団体などの地域活動をサポート 市民活動支援センターをご活用ください

まちづくりなどの目的で自主的に活動している方々をサポートするペアーレ大曲内の市民活動支援センター。センターには、パソコンやプリンター、会議室などを用意しています。市内で活動している方であれば、個人・団体を問わず誰でも利用できます。



パソコンやプリンター、会議室などを利用できる市民活動支援センター

◆利用時間／午前9時～午後5時(日曜、祝日を除く)

※初回利用時に登録(無料)が必要です。

◆場所／ペアーレ大曲1階

◆利用料金／無料

【問い合わせ】男女共同参画・交流推進課 ☎0187-63-1111 内線297

地域情報

大曲 桂児童センター 体力増進指導教室

- 対象/大曲地域の小学1～3年生
- 期日/4月11日から平成26年3月27日までの毎週木曜日
- 時間/
【1年生】午後3時30分～4時15分
【2・3年生】午後4時30分～5時15分
- 定員/30人
- 参加費/800円(保険料)
- 申込期間/3月23日(土)午後2時から27日(水)午後4時まで
- 【問い合わせ・申し込み】

桂児童センター ☎0187-63-2426

神岡 神宮寺駅前駐車場の 利用申し込み受け付け

- 利用期間/4月1日から
11月30日までの8カ月間
- 駐車可能台数/36台
- 使用料/月額1,570円
- 申し込み方法/神岡支所農林建設課に用意している申請書に必要事項を記入・押印し、提出
- 申し込み開始/3月21日(木)
- 【問い合わせ・申し込み】

神岡支所農林建設課
☎0187-72-4609

神岡 かもおか嶽雄館 「おもしろ講座」

- 今年は全12回の講座を開催予定。さまざまな分野の講師のもと多彩なテーマを楽しみながら学びませんか。
- 期日/4月から平成26年3月までの毎月第3水曜日(全12回)
 - 時間/午前10時～11時30分
 - 会場/神岡中央公民館(嶽雄館)
 - 受講料/年2,000円
 - 申し込み方法/神岡中央公民館に用意してある申込書に必要事項を記入し、受講料を添えて提出
 - 申込期限/4月5日(金)
 - 【問い合わせ】

神岡中央公民館(嶽雄館)
☎0187-72-2501

大曲 親子で楽しく健康づくり 親子体力増進指導教室

- 対象/3～5歳の幼児と母親
- 期日/4月17日から平成26年3月27日までの毎週水曜日
- 時間/①午後2時10分～②午後3時10分 ※①②どちらかを受講
- 会場/花園児童センター
- 定員/①②あわせて30組
- 参加費/800円(保険料)
※母親は任意加入
- 申込期間/4月3日(水)から5日(金)まで(午後1時30分～5時)
- 【問い合わせ・申し込み】

花園児童センター ☎0187-63-7666

大曲 ばら栽培講習会

- 春ばらの剪定や消毒、肥料のやり方などの方法を学びませんか。初心者の方も歓迎します。
- 時間/3月23日(土)
午前9時～11時
 - 会場/こもれびの杜(飯田堰東235)
 - 受講料/無料
 - 持参するもの/剪定ばさみ
 - 【問い合わせ】

鈴木さん ☎0187-63-7320

太田 ナチュラルガーデン講座

- 植物が本来持っている力を引き出せる植栽・管理方法などを学び、実際に庭造りを体験してませんか。
- 期日/5月から10月までの毎月第2土曜日
 - 時間/午前9時～11時
 - 会場/太田農村体験の里「体験農園」(奥羽山荘もみじ庵西側)
 - 定員/15人
 - 受講料/500円(資料代ほか)
 - 申込期限/4月19日(金)
 - 【問い合わせ・申し込み】

太田公民館 ☎0187-88-1119

大曲 太極拳無料体験教室

- 期日/4月1日から
6月24日までの毎週月曜日
※4月8日と祝日を除く
- 期日/午前10時～11時30分
- 会場/サンクレスト大曲
- 【問い合わせ・申し込み】

小西さん ☎0187-62-3076

神岡・嶽六所神社 奉納ぼんでん

3/17
日

- 春を告げる行事として、五穀豊穡、家内安全を祈願し行われます。威勢のいい若者たちが祝い唄を歌いながら、ぼんでんを披露します。
- 日時/3月17日(日)
午前7時～午後2時
※正午ごろ、神宮寺中町大門口の鳥居跡に集まり、激しくもみ合います。
 - 会場/神宮寺地区、嶽六所神社
 - 【問い合わせ】

神岡支所市民サービス課
☎0187-72-2111



400年以上の歴史がある嶽六所神社奉納ぼんでん。春の訪れを告げるぼんでん奉納をぜひご覧ください。